

小学校算数指導資料を活用した実践的な研修会!!

～浅口市・里庄町の取組紹介～

今号では、浅口市と里庄町が合同で実施した小学校算数指導資料「小学校算数指導改善に向けた教師の学び」（以下、「指導資料」という。）を活用した研修会について紹介します。

研修会の内容

研修のプログラム

- 1 説明 指導資料の活用について
- 2 演習
(模擬授業参観・改善案の検討)
- 3 研修のまとめ、振り返り



模擬授業の様子



改善案を検討する様子

今回の研修では、模擬授業を参観した後、その授業を改善する案をグループで検討するプログラムがあったよ。なぜ、模擬授業をプログラムに取り入れたのかな。

研修について算数部会の先生方と打ち合わせをしていく中で、先生方が研修内容を**自分事として捉え**、授業改善のスキルを身に付けられる研修にしたいと思い、模擬授業を取り入れました。模擬授業を実施した先生方には、数学的な表現の活用や学習内容の系統性について**修正の余地がある授業を意図的に実演**していただくよう依頼しました。参観する先生方にも**修正する視点を予め示して**おきました。

参観した先生方が改善案を検討する際に「児童がどの表現（言葉、数、式、図、表、グラフ）を使えば理解が深まるのか?」、「前の学年で習ったことをどう活かせばよかったか?」と**算数の指導で大切なポイントを意識する**ことができました。

浅口市教育委員会
指導主事(主幹)
平本 友美 氏

里庄町教育委員会
指導主事(主査)
吉村 一馬 氏

研修に参加した先生方の感想等

【数学的な表現の活用・学習内容の系統性について】

- **具体と抽象の往還がどの単元でも大切**であり、子どもたちにとってわかりやすく、日常と算数を結びつけるきっかけになると改めて感じました。
- 学年をまたいだ内容の系統性と、動作・図・式・言葉などの表現方法を往還することの大切さを**授業者が知っておくことが、子どもの学びを充実させることにつながる**と気づきました。
- その学年で(学習内容を)身に付けさせないと**次の学年につながらない**と改めて思いました。

【今後の実践・授業改善について】

- 今回のように**授業についてじっくり話し合う機会を校内でもしっかり作っていきたい**と思いました。
- 児童の誤答を予想し、なぜその答えになるのかを子どもに考えさせることで学習も深まっていくと思います。**具体と抽象を行き来しながら、授業を進めていきたい**と思います。

今回紹介した模擬授業のように、より実践的な研修方法を取り入れることで、指導資料に記載している「3つのポイント」についてさらに理解を深めることができます。算数の指導改善に向けた取組を一層進めていきましょう。